

Europe Indicators

発表日: 2022 年 11 月 24 日 (木)

欧州経済指標コメント: 11 月ユーロ圏PMI速報

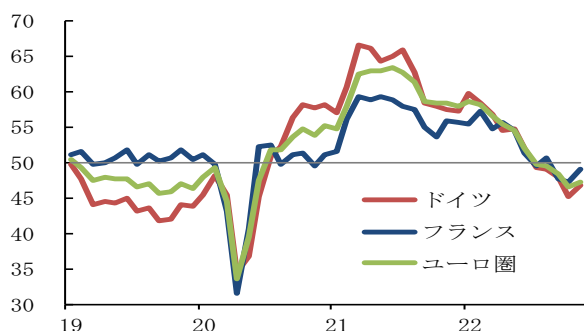
～マイルドな景気後退へ～

第一生命経済研究所 経済調査部

主席エコノミスト 田中 理 (Tel: 03-5221-4527)

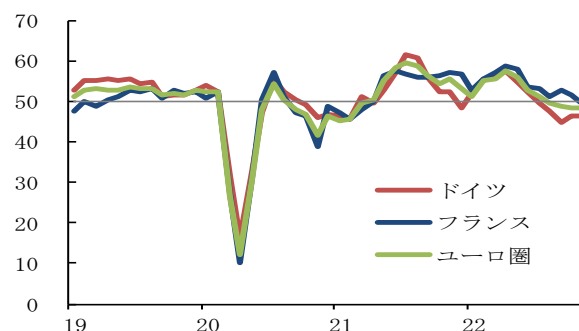
- 23日に発表された11月のユーロ圏総合PMIの速報値は47.8と5ヶ月連続で好不況の分岐点(50)を割り込んだが、7ヶ月振りに前月対比の落ち込みを回避し、悪化モメンタムがやや和らいだ。
- 総合PMIを構成する2項目の内訳は、サービス業活動指数(PMI)が48.6→48.6と前月から不変の一方、製造業の産出指数(製造業PMIの構成項目の1つ)が43.8→45.7と悪化モメンタムが鈍化した。国別・業種別には、フランスでサービス業が2021年3月以来の50割れに転落したものの、ドイツ・フランスともに製造業の悪化モメンタムが鈍化し、全体の計数を押し上げた。ドイツの総合PMIは5ヶ月連続、フランスの総合PMIは2021年2月以来の50割れ。
- ユーロ圏の製造業PMIは46.4→47.3に悪化モメンタムが鈍化。指数を構成する5項目の内訳は、既述の産出(43.8→45.7)と新規受注(37.9→41.0)が押し上げに、中間財在庫(51.3→51.2)と入荷遅延の逆数(56.6→52.7)が押し下げに、雇用(52.6→52.6)が前月対比不変。先行きの不透明感は払拭されないが、冬場のガス不足懸念の後退、中国のコロナ規制緩和、供給制約の緩和などを反映したものとみられる。ただ、先行きの広範な回復を示唆するものではなく、ユーロ圏は10-12月期にマイナス成長に転落し、来年前半もマイナス成長が続くとの見方を維持する。
- インフレ圧力は高止まりしているものの、ユーロ圏の投入物価は製造業が72.9→64.4、サービス業が77.5→74.3と、前者が90前後、後者が80前後のピーク時対比、上昇モメンタムがやや鈍化。

■ユーロ圏：製造業PMI



出所: S&P Global

■ユーロ圏：サービス業PMI



出所: S&P Global

■購買担当者指数 (PMI、季節調整済み)

	2021				2022											
	4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
ユーロ圏 総合産出指数	54.3	54.2	54.2	49.0	55.5	54.9	55.8	54.8	52.0	49.9	48.9	48.1	47.3	47.8		
製造業購買担当者指数	58.2	57.8	54.1	49.3	58.2	56.5	55.5	54.6	52.1	49.8	49.6	48.4	46.4	47.3		
サービス業業況指数	54.5	54.1	55.6	49.9	55.5	55.6	57.7	56.1	53.0	51.2	49.8	48.8	48.6	48.6		
ドイツ 総合産出指数	51.4	54.8	53.1	46.9	55.6	55.1	54.3	53.7	51.3	48.1	46.9	45.7	45.1	46.4		
製造業購買担当者指数	57.5	58.4	53.8	48.8	58.4	56.9	54.6	54.8	52.0	49.3	49.1	47.8	45.1	46.7		
サービス業業況指数	51.2	54.7	55.0	47.5	55.8	56.1	57.6	55.0	52.4	49.7	47.7	45.0	46.5	46.4		
フランス 総合産出指数	55.5	54.8	55.7	51.1	55.5	56.3	57.6	57.0	52.5	51.7	50.4	51.2	50.2	48.8		
製造業購買担当者指数	55.0	55.8	53.9	49.3	57.2	54.7	55.7	54.6	51.4	49.5	50.6	47.7	47.2	49.1		
サービス業業況指数	57.0	55.3	57.0	52.5	55.5	57.4	58.9	58.3	53.9	53.2	51.2	52.9	51.7	49.4		

出所: S&P Global

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

